

令和元年度第2回山形県入札監視委員会審議事項の概要

- 1 開催日時 令和2年2月5日（水）9時30分～11時45分
- 2 会 場 山形県庁講堂
- 3 出席委員 委員3名（青柳委員、兼子委員、梅津委員）
- 4 県出席者 県土整備部次長、県土整備部整備推進監、関係部局職員など計28名

5 審議事項の概要

(1) 抽出事案の審議について（対象期間：平成31年4月1日～令和元年9月30日）

① 抽出事案1

平成30年度北村地区特定農業用管水路等特別対策事業第4工区工事

【建設工事／一般競争入札（条件付）／

村山総合支庁北村山地域振興局北村山農村整備課】

委員	総合評価の地域貢献活動の項目について、企業として農業参入していることが評価項目になっているが、その評価基準について説明願いたい。
県	農業参入の評価については、活動実績について証明書等の資料の提出を求めており、今回は農地を30a以上持っているという証明書類の提出があったので、それで内容を確認し、評価対象としている。
委員	2者が地域貢献度の項目で加点対象になっているが、これは農業参入の部分で加点されたものか。
県	そのとおり。提出があった資料で農業活動を行っているということが確認できたので加点対象としている。
委員	評価基準となっている経営耕地面積及び年間の農産物販売金額の数値はどのように決定しているのか。
県	販売農業者としての基準が通常今回示している数値以上というようになっている。県ではこの基準を満たしている場合、地域貢献活動として評価対象としている。
委員	入札参加資格確認申請者数が12者でその内入札参加者数が2者ということだが、その理由は把握しているか。
県	入札を辞退した業者に理由は確認していないが、建設業全体で技術者が不足している中で、工事の施工地域や金額、難易度等を考慮して入札に参加するかどうかを判断していると思われる。

委員	過去の受注業者の実績はどうなっているか。
県	これまでの土木一式工事として発注した案件の受注実績については、本案件の落札業者が6件、それ以外の業者も何者が受注している。
委員	積算に係る特記事項として宿泊費と借上費については労務者確保に係るものに限り設計変更可能とあるが、これはどのような形で計上しているのか。
県	平成24年度の補正予算等の執行に伴い運用されるようになったもので、東日本大震災の影響も含め、労務市場がひっ迫し、作業員を確保できないため遠方から作業員を確保せざるを得ない場合において、当該労働者の宿泊に係る経費等を設計変更により計上することができるもので、今回は共通仮設費及び現場管理費のうちの労務管理費の部分で率を上げて計上している。
委員	今回2者が入札している中で、落札業者ではない業者の入札価格が予定価格をオーバーしているが、これについてはどのように考えているか。労務単価や材料費の値上がり等があったのか。
県	入札の際に積算内訳書を提出してもらっているが、当該業者は一般管理費と現場管理費を高く見積もっていた。ただ、オーバーした業者についても誤差は1%未満ということで、ギリギリを狙った結果予定価格をオーバーしてしまったものと思われる。

② 抽出事案2

平成30年度（債務負担行為工事）道路改築事業（防災安全）主要地方道長井白鷹線荒砥橋架替（床版製作・架設）工事

【建設工事／一般競争入札(条件付)／県土整備部道路整備課】

委員	下請業者一覧表が空欄となっているが、まだ下請業者が決定していないということか。
県	そのとおり。現在プレキャスト床板を工場で作成しているところであるため、現時点で下請業者は決まっていないが、今年度末頃までには決定する見通しとなっている。
委員	そうすると下請業者が現場で施工を行う前までには一覧表も提出されるということか。
県	そのとおり。
委員	今回は入札価格が同額で技術点の部分で差が生じているが、この点については、業者の持つ技術力の差が出ているということになるのか。

県	単に業者の持つ技術力という部分以外でも、企業の中でもどの技術者をその工事に配置するかといった点や工場内での製作や運搬・架設に係る安全対策の提案の部分で差がついている。
委員	今回の入札において応札が可能だった業者は何社あったか。
県	こちらで把握している数としては、JVの代表者としては東北管内で13社、JVの構成員の要件である県内業者は28社となっている。
委員	地域貢献度の評価項目の内容はどのようなものか。
県	企業としてふるさとの川愛護活動支援事業や除排雪ボランティア等の活動を実施している場合、地域貢献度の部分で加点対象とするものになる。
委員	本案件は特殊な工事で山形県内の業者だけでは施工できないものであったということでしょうか。
県	プレキャスト床板を製作できる工場や保管場所がある業者が2者ほどしかいないため東北に範囲を広げている。
委員	そうすると競争性を確保するため、JV方式で範囲も東北に広げて実施したということか。
県	そのとおり。
委員	今回2者が応札し入札価格が同額であったが、これは積算の内訳としては費目ごと金額が違っているがトータルでは同額になったということか。
県	そのとおり。個別の項目では額が異なっているが合計で同額となったものである。今回は予定価格が事前公表であったため、ある程度諸経費や一般管理費等で調整した結果同額になったものと思われる。

③ 抽出事案3

酒田警第11、12、13号職員アパート外壁改修工事

【建設工事／一般競争入札(条件付)／警察本部会計課】

委員	本案件では3者が辞退ということだが、辞退した理由については把握しているか。
県	辞退した理由については業者に確認はしていないため、あくまで推察ということになるが、価格面で折り合いがつかなかったということや他の工事との兼ね合いで技術者の配置が難しかった等の理由が考えられる。
委員	下請業者の数が多いが、下請金額以外の部分で、例えば請け負える工事の数などの制限はあるか。
県	特にそのような制限はない。

委員	本案件では11、12、13号の職員アパートが対象ということで、そうすると他の職員アパートについても順に改修を実施しているものと思われるが、他の改修工事においても本案件のような入札状況になっているのか。
県	今回のようなパネルを剥がして張り替える工事は初めてだが、これまでの改修工事の実績を見ると、辞退業者が何者かいて最終的に1者が応札といったケースや全者が辞退といったケースも多くはないものの何件かはあり、本案件のようなケースが特段珍しいというわけではない。
委員	今回は金額は変わっていないものの変更契約を行っているということだが、変更内容はどのようなものになるか。
県	駐車場の広さを確保するため外部足場の幅を小さくしたこと、アンカーを壁に打ち込む際に中にある電気配線に当たらないようにするため埋設配管探査調査を実施したものになる。
委員	変更内容については、落札後ではなく事前に分かるものではなかったのか。
県	外部足場の幅については当初の想定よりも駐車場の広さを確保する必要性が生じたため変更した。また、確保埋設配管探査調査については業者の方から工事中にぶつかることがないように安全のために調査を行いたいという申し出があったため実施した。
委員	本案件では県の積算でなく業者からの見積りを基に予定価格を算出したということだが、見積りは何者からとったのか。また、その中に本案件の落札業者は含まれているか。
県	事前に改修工事の設計業務委託を行っており、そちらの方で見積りを徴収している。また、その中に本案件の落札業者は含まれていない。
委員	今回は入札参加資格確認申請者数は4者ということだが、担当部局としては入札参加可能業者数はどの程度であったと考えていたか。
県	県の入札参加資格者名簿で確認し、41者あると把握している。
委員	そうすると競争性は確保できるという前提で入札を実施したということになるか。
県	そのとおり。

④ 抽出事案 4

令和元年度道路施設長寿命化対策事業（交付金・国道点検）外村山総合支庁
（北村山地域振興局）管内 橋梁定期点検・診断業務委託

【建設工事／一般競争入札（条件付）／

村山総合支庁北村山地域振興局北村山農村整備課】

委員	本案件はJV方式で、高い技術を持つ専門領域企業と地域精通企業とでJVが構成されているが、入札参加業者を見てみると県内業者のみで構成されているJVもいくつかあるが、県外業者も範囲に含めたのは県内業者のみでは入札業者数が少なくなるからか。
県	当初は地域精通企業としての資格しか有していない業者が、経験を積んでいく中で専門領域企業としての資格も持つようになったケースもあり、どちらの構成員にもなることが可能な業者が何者かあるため、県内業者のみだと入札業者数が少なくなるということではない。
委員	そうすると県内業者が経験を積んでいけば、いずれはJVを構成しなくても入札を実施するということも可能になってくるのか。
県	その辺りは建設行政でどのように考えるかということになるが、JV方式については地元の業者が経験を積んでいく中で専門領域企業の要件を満たすようになるということでは有効な方法であると考えられる。実際、経験を積み専門領域企業となった業者も出てきている。
委員	事業費総括表の見方についてご教示願いたい。また、表を見ると残額が生じているようだが、これはどのような扱いになるのか。
県	橋梁点検・診断委託とデータベースの登録委託の費用額の合計が本案件の事業費となっている。また、残額については県庁の担当課に吸い上げられることになる。
委員	本案件では下請は特になのか。
県	そのとおり。
委員	県内業者でJVを組まないで施工できる業者は何社くらいあるか。
県	県の入札参加資格者名簿で確認したところ、専門領域企業の要件を満たす業者は25者程いる。
委員	競争性を保ち、県内業者の技術力を上げていくという観点からもJV方式での入札としたのか。
県	そのとおり。

委員	本案件では36の橋をまとめて点検・診断する業務委託内容となっているが、実施数を36としたのは何か理由があるのか。
県	北村山地域には約150の橋があり、それを5年で点検していくと概ね30～40程の数になる。
委員	北村山地域の橋の約20%程をまとめて点検していくという入札にしたということか。
県	そのとおり。

⑤ 抽出事案5

令和元年度空港整備事業（山形空港公共）山形空港監視制御装置更新実施設計業務委託

【建設工事関連業務委託／指名競争入札／山形空港事務所】

委員	指名業者数を10とした理由は。
県	設定の基準で10者となっており、それに従って業者を選定した。
委員	応札したのは2者ということだが、入札金額を比較すると少し開きがあるようだが、これについてはどう見ているか。
県	国で示している積算設計基準に基づき積算を行っているため、大きく違うということはないと考えられるが、本案件では結果的に少し差が生じている。
委員	今回落札できなかった業者の入札価格の内訳は把握しているか。
県	詳細な分析はしていないが、県としては国の積算基準や山形空港の実情等に合わせて入札を行っている。
委員	落札した業者以外からは特に内訳書の提出を求めているため、詳細な内訳までは把握できないということか。
県	そのとおり。
委員	対象の業者一覧を見るとほぼ県外業者だが、本案件のような業務内容では、県内業者が入札に参加するのは難しいということか。
県	空港の更新業務は15年ごとに行うことになっているが、全国に空港は101あり、単純計算すると年に6、7件程しか案件がない専門性の高い分野となっているため、県の業者が実績を積むのも難しくなっている。
委員	本案件では10者が選定されているが、実際に条件を満たしていた業者は何社あったか。
県	93者あった。
委員	93者から10者に絞った基準はどのようなものか。

県	実績請負額が多い業者を上から10者選定している。
---	--------------------------

⑥ 抽出事案6

平成31年度インバウンド機能強化推進事業費 空港機能強化調査業務委託
【建設工事関連業務委託／随意契約／県土整備部空港港湾課】

委員	プロポーザル方式に参加する者の資格要件の中で、県の入札参加資格者名簿で「土木関係建設コンサルタント業務」に係る「港湾及び空港」に登載されていることとあるが、これに該当する業者はどのくらいいるか。
県	山形県内に事業者があり、当該条件を満たす業者は全国で42者ある。
委員	その中で、本案件では1者しか参加しなかったということか。
県	他にも「港湾及び空港」の技術士が2名以上いることや、過去10年間で「航空需要予測」を元請として受注し完成させた実績がある等の条件があり、それらの条件を全て満たすのは5者あった。
委員	需要予測の実績については、実際に需要が合っていないくても、あくまで予測を出した実績があればいいということか。
県	公的機関の発注を受け、業務を行った実績があればよい。
委員	その予測があっているかどうかというところまでは確認するのは難しいということか。
県	そのとおり。
委員	本案件では審査員の評価の平均は70点となっており、また、提案者が1者のみであっても、提案の内容が契約の目的を十分に達成できる場合は当該業者を最優秀提案者とするところがあるが、判断基準はどのようなものか。
県	最高点である100点の5割である50点に満たない場合は、決定を見送る場合があるというようになっている。また、50点に満たない場合であっても審査会で最優秀提案者に決定する可能性もある。
委員	過去の同様の案件での評価点はどの程度だったか。
県	県土整備部では公募型プロポーザル方式の実績は少ないが、過去の案件では6割強程度の点数が多かった。
委員	本案件は1者のみの応募となっているが、これについてはどのように考えているか。

県	大きな国際空港とは違い地方空港での業務ということで、応募数は少なくなるということはある程度予想していた。なお、最終的に応募はなかったものの、本案件の落札業者以外の2者から業務内容について問合せがあった。
委員	契約上限額が設定されているが、これはどのような基準で設定されているのか。
県	今回は通常の価格競争ではないというところで、県の会計局で定めている実施要領に基づいて設定している。
委員	参考見積りを1者からとったということだが、これは本案件の落札業者か。
県	そのとおり。落札業者はこれまでも山形空港や庄内空港の滑走路の補修や調査設計を実施しており今回見積りを依頼したが、プロポーザル方式で募集したところ同業者のみの応募になった。

4 その他 特になし